



## 卒業・進級おめでとう！

202日の学校生活、本日修了式を迎えることができました。また、明日は、卒業証書授与式を執り行います。保護者の皆様をはじめご来賓の皆様、地域の皆様たくさんの皆様に、子ども達の立派に成長した姿をご覧いただけますこと大変うれしく思います。この日を迎えられることに感謝の気持ちしかありません。5年生も参列して卒業生への思いを伝えます。

この1年、子ども達はさらに！さらに！大きく成長しました。では、2つに絞ってお伝えします。

1つ目です。「手を使い助け合うたいらっ子」という児童会スローガンについてです。お互いに考えを出し合って学ぶ、困っている友達を手伝う、上級生が下級生のお世話をする、友達が喜んでくれそうなことを考えて実行する、上級生の取組に学び下級生がまねるなど、心温まる場面が日常の至る場面にあります。すっかり平館小の自慢になりました。各学年の作文にお互いの考えを伝え合ったり、支え合ったりと関係性を深めたことが伺えます。人間関係においても、うまくいかないこと、足りないことを自覚し、そこから分かり合えたことがお互いの関係を支えてくれることと思います。どの考えも心を打たれることばかりです。2つ目です。それは、「なりたい自分」ということです。授業でも日常生活においても「自分はどうかありたいか」ということを考えています。その積み重ねが、「これからは」や「来年は」などの言葉に現れています。失敗や、間違いがあったとしても、自分の目指すところに向かいがんばったこの1年があるからこそ、次の「なりたい自分」や目標が生まれ、成長していけるものと信じてこの1年の学びと成長を次の学年につなげていけるよう、取組んでまいります。変わらぬご支援をお願いいたします。

### 1年生の作文より

…相手の気持ちを考えて、嫌な気持ちにならないように教えることができるようになりました。また、自分が間違っただけをしたときやけんかをしてしまったときに、「ごめんね」が言えるようになりました。…2年生になったら新しい1年生にいろいろなことを教えてあげたいです。

### 2年生の作文より

…自分一人では難しいことでも友達と話し合うことで、よく分かるようになりました。特に、算数の分数は難しかったけれど、友達と対話をする、友達の良い考えが付け足されて、自分の考えがはじめよりももっと良い考えになりました。…でも、まだできていないこともあります。それは、できないことがあると友達に頼ってしまったり、自分の気持ちを立て直すことができなかつたりすることです。でも、2学期には自分の生活を変えて早起きをして朝ごはんを食べてから登校するようになりました。そうすると、気分がすっきりして「今日も頑張るぞ！」という気持ちになって登校できました。…

### 3年生の作文より

…ぼくたちは、2学期に福祉の学習で支援学校に見学に行きました。目の不自由な人の気持ちや大変なことを知りました。そこで、3年生のみんなで「点字ブロック・大切にしようキャンペーン」をはじめました。授業参観でチラシを配り、「壊れていたら連絡をお願いします。」と呼びかけました。また放送で全校にもお願いをして、チラシを配りました。これからは、困っている人がいたら声をかけたいと思います。…

### 4年生の作文より

…授業中に人の話を聞くと時には、相槌を打つことも意識しました。自分も、友達と話していて反応が無かったところは、自分の話が伝わっているかどうかわかりにくかったです。でも、伝わっていることがわかるようになると、話しやすくなりました。話が伝わることは嬉しいことだとわかりました。…班で相談する場面で意見がなかなかまとまらない時には、まとまるような意見を出すことができました。…「誰かのために手を使う」ということができたと思っています。

### 5年生の作文より

…自分の考えをみんなに伝えようと取組んできました。まだまだ不十分ですが、少しずつ頑張りが見えるようになってきました。来年は最高学年になります。最高学年として、全校の手本になれるように何事にも挑戦しがんばっていきたいと思います。そのために自分の考えをしっかりと発信し、みんなで力を合わせて生活していきたいと思います。そして、下級生に尊敬されるような6年生に、今年の6年生に負けないような6年生になりたいと思います。…みんな「満足したね。」と言い合えるような1年にできるように頑張ります。

## 震災から学ぶ

## 3.11 追悼集会

東日本大震災から15年が経過した3月11日、5校時に集会と学級での活動を行いました。集会では、次の2点を話しました。1つ目は、15年前の被害の様子です。当時の新聞報道を使いながら、改めて被害の大きさを知り、「自分の命は自分で守る」ために考えました。命を守るためには、知識をもとに自分で考えることが必要であることを確かめました。2つ目は「自分の命の使い方」です。当たり前にある日常や、明日があると思っているけれども、誰にも保障されていないということに、震災に遭われた方々の思いから気づくようにしました。そこから、感謝や他の人を大切にすること、そのために私たちの自慢である「誰かのために手を使うこと」が大切であること、さらに自分自身、今やるべきことを精一杯やりきることの大切さを考えました。精一杯生きることによって未来が変わることを考えました。

## おめでとう！



桜の札所絵画コンクール 八幡平市長賞：歩由さん

県書写書道コンクール

○毛筆の部

推薦：夢乃さん、瑠毅さん 特選：瑛真さん、万葉さん、咲帆さん、歩由さん

○硬筆の部

推薦：航佑さん 特選：和奏さん、杏さん、瞭さん、詩乃さん、夢乃さん、歩由さん

## 10のがんばい！

こんな「たいらっこ10のがんばり」にしたい！



10のがんばりの言葉

1	進んで本を読み、百冊読書を達成しよう
2	他の人と考えを比べ、より良い考えを見つけよう
3	自分の課題を見つけ、達成できるように取り組もう
4	学習で学んだことを、生活に生かそう
5	自分から明るい声で挨拶しよう
6	友達を助けたり、平等に優しくしよう
7	周りの人に「ありがとう」や「ごめんなさい」伝えよう
8	手洗いなどをして、健康的にすごそう
9	ルールを守り、安全に運動しよう
10	初めてのことに進んでチャレンジしよう

## 感謝！

今年度本校教育活動実施に関わり、保護者の皆様はじめ、地域の皆様には、その意義と目的をご理解いただき、多くのご支援ご協力をいただきました。お陰様で一人一人が立派に成長いたしました。ここに改めて感謝を申し上げます。

前回の校報でお伝えした、来年度の10のがんばりが右記になります。これを考えた新旧執行部の考えの深いことに、感動しました。社会生活を営む上での大切なことがしっかりと位置づけられています。また、子ども達が時々使う「深い学びの場」とするためのことも位置づけられています。実現に向けてどう行動していくのか楽しみです。